



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 45

R1.5.22

今月のキーワード

学習指導案

学習到達目標との関連

5月下旬から研究授業が始まる学校も多いと思います。外国語活動(外国語科)指導案の作成の際には、昨年度3月にお示した市の学習到達目標や、今年度から開始した「しもつけ未来学習」との関連についても記載をお願いしたいと思います。なお、新学習指導要領に基づく評価規準作成の詳細については、今後国からの資料が示された後、改めてお知らせします。

外国語活動指導案の作成(例)

新学習指導要領に基づく観点別学習状況評価の観点は

【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】となります。

1 単元名

2 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】【外国語への慣れ親しみ】【言語や文化に関する気付き】

3 言語材料

4 単元について

- (1) 単元観・・・学習指導要領の目標や内容を踏まえ、単元を通して児童生徒にどのような力を付けるかを明らかにしたもの。
- (2) 児童の実態・・・単元観を踏まえ、指導者の観察、調査やテストによって学級集団の実態や児童生徒一人一人の実態を捉えたもの。
- (3) 指導観・・・指導の重点や具体的な手立てを示したもの。

例)・・・実態調査の結果から、児童が主体的に学習に取り組めるよう、「ALT と先生方がもっと仲良くなるきっかけを作ろう」を学習課題とした。4月から赴任したALTがより楽しく小学校での生活が送れるよう、Unit1での自己紹介活動を活かしながら、校内の先生方を紹介する活動を取り入れる。児童が相手意識や目的意識をもって学習に取り組むことにより、英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを実感できるような活動を行いたい。

単元で身に付けさせたい力が、学習到達目標のどこに位置付いているかを示します。

児童生徒の実態に合っているか、各学校で学習到達目標の検討をお願いします。

5 学習到達目標との関連

例) 学習到達目標 5年生

話すこと(やりとり)「(イ)身近で簡単な事柄について、自分の気持ちを伝え合うことができる。」校内の先生の情報収集をしたり、ALTに紹介したりする活動を通して、自分の気持ちが伝えられるよう、本単元で学習する言語材料 can だけでなく、既習事項も取り入れながら、自由にやりとりをする時間を十分に確保したい。

6 しもつけ未来学習との関連

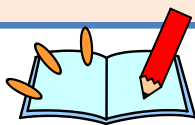
例) 下野市の学校で働く先生方をALTに紹介することを目的とした自己表現活動を単元の最後に設定し、自分の伝えたいことを表現しようとすることは、自分たちの学校について英語で発信できる力につながるものとする。

しもつけ未来学習と関連のある活動は、このマークで示します。



新しく位置付ける項目





7 単元の指導計画と評価計画（8時間）

時間	目標	評価			
		関	慣	気	評価規準
4			○		
5 本時	「できること」「できないこと」について、 ○○に積極的に質問することができる。		○		

どうすれば単元を通して身に付けさせたい力を育成できるか、指導内容や配列を工夫しましょう。

8 学校課題との関連

9 人権教育との関連

10 本時の指導 (1) 題目 (2) 本時の目標 (3) 授業の観点 (4) 人権教育の視点
(5) 本時の指導

学習活動	時間	HRT	ALT	指導上の留意点
2 small talk を聞く。		本校に勤務する先生について、特技を紹介する。		Small Talk で、地域や学校のことに触れるため、しもつけ未来学習のマークを入れます。
3 本時のめあてを確認する。		めあて 「できること」「できないこと」について		○○に進んでインタビューをしよう。
4 「できること」「できないこと」についてインタビューをする。 (会話の例) A: I can swim. Can you swim? B: Yes, I can. / No, I can't. A: Do you like swimming? B: Yes, I do. / No, I don't.		支援をすることで、児童生徒がどのような状態になることを目指しているのか、指導者の意図が分かるように記載します。 例) ~することで、...できるようにする。		・ペアで確認し合う時間を設けることで、児童が安心して表現できるようにする。
		・評価規準 「できること」「できないこと」について、○○に積極的に質問しようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・努力を要する児童への支援 HRTやALTが個別にゆっくりと発音し、児童が繰り返して言えるよう支援する。		

ねらいと評価の整合性

児童生徒の具体的な学習状況を想定し、評価の基準（判断の基準）を設定しましょう。
「十分満足できる状況」「おおむね満足できる状況」「おおむね満足できる状況に達していない児童生徒への手立て」について考えておくことが大切です。

※吉田東小学校 飯野真由子先生の指導案をもとに作成しました。

WinBirdの文書フォルダ（指導案）に指導案例や学習到達目標（小・中英語）が入っていますので、御活用ください。



文責 学校教育課 稲葉亜希恵